

提出日：平成 21年1月13日

## 仙台市立東華中学校 視察報告書

牧野友紀（東北大学大学院情報科学研究科 助教）

<b>調査・場所</b>
仙台市立東華中学校かしわホール
<b>日程</b>
2008年12月18日（木）～2008年12月18日（木）
<b>参加者</b>
篠澤和久(准教授)・邑本俊亮(准教授)・牧野友紀(助教)
<b>目的</b>
仙台市内の中学校で実施された情報モラル教育の視察のため。
<b>概要および成果</b>
<p>財団法人コンピューター教育開発センター(CEC)主催の「親子のためのネット社会の歩き方セミナー」が仙台市立東華中学校かしわホールで行われた。指導講師は、鳴門教育大学藤村裕一准教授である。セミナー参加者は、東華中学2年生(168名)とその保護者である。セミナーは二部構成で行われ、第一部は、東華中学の5時限授業(13時35分から14時25分まで)であった。第二部は、保護者向け講演が行われた。6時限目(14時35分から15時25分)までの予定であったが、30分程度延長した。</p> <p>セミナーの目的は、情報モラルやセキュリティについて学び、家庭でのコミュニケーションの題材となるような、情報モラルやセキュリティにかんする情報を理解することであった。内容は、中学生を取り巻くネット世界の概要、有害サイトの情報、ネット上のトラブル対応など、情報モラルの実践的なあり方を説明するものであった。ワークショップ形式が用いられ、生徒、保護者との対話をふまえた講演であった。資料として、財団法人コンピューター教育開発センター発行「親子のためのネット社会の歩き方平成20年度版」が配布された。さらに、窪俊一准教授の指導にもとづき、ビデオ撮影を行い、DVD化をはかった。</p> <p>本セミナーは、中学校で行われた情報モラル教育の実践である。それをセンターの複数教員が視察したことは、今後のプログラム推進にとって大きな意味があり、また、教育現場の記録資料を作成したことは、重要な成果として位置づけられる。</p>